

2016年リハ並木祭

東京頸髄損傷者連絡会 鴨治慎吾

10月22日(土)、国立障害者リハビリテーションセンターにて、今年もリハ並木祭が開催されました。

例年通り東京頸髄損傷者連絡会も出展しました。場所は訓練棟1階第8教室の場を借りて「頸損連絡会の活動紹介」を展示です。前日の21日(金)に麩沢事務局長と私で準備・設営を行いました。



当日は朝9時半から一般公開が始まります。開始直後は準備を終えた関係者たちが見て回っている程度で訪れる人はまばらでした。お昼前になると段々と人が増え、東京頸損のブースも賑わいを見せ始めました。



今回の展示内容は以前全国総会東京大会で使った全国頸損の歴史を記した年表と昨年度の活動報告、頸損者の自立生活の様子、全国頸損歴代のリーフレットの掲示。2010年頸損解体新書、東京頸損機関紙「お江戸くちはっちょう」、全国頸損機関誌『頸損』の展示及び配布です。

午後になると病院でリハを受けている方や職員、新しく国リハにできた自立支援局の入所者や職員、国立職業リハビリテーションセンターの方々や一般の方々も見え始めました。



リハビリ中の方や自宅に戻られた頸損の方々から相談を受けることもありました。会員でない方々と情報共有をすることによって、普段から力を入れていきたいと考えてもいる頸損同士で助け合うという活動、頸損連絡会としての活動がより充実したのではないかと思います。

今年も例年通りの内容ではありますが、無事にリハ並木祭への展示を終えることができました。また新たな出会いもあり、新たな繋がりを持つきっかけができたと思います。こうした活動を継続していくことが少しずつ頸損に関する認識が広がったり、頸損者の生活の向上への一歩であるのではないのでしょうか。自分も頸損になった後、先輩方に情報を頂いたことで今の生活ができています。これからは少しずつ先輩方に近づけるような活動をしていければと思います。